

わが市わが町

『清川村』

～ 水と緑の心の源流郷きよかわ～

清川村は、神奈川県北西部の東丹沢山麓に位置し、東西12.6km、南北9km、総面積71.29km²、人口約3千人の神奈川県で唯一の村です。

面積の約90%が山林で占められており、煤ヶ谷には小鮎川、宮ヶ瀬には中津川がそれぞれの清流や溪谷美をつくり、四季折々の自然を身近に感じられる場として、多くの方々に憩いや安らぎを提供しています。



また、芦ノ湖とほぼ同じ約2億トンの貯水量を誇る宮ヶ瀬湖を有し、良質な水を県下15市5町に安定的に供給するため、水源地として水源環境の保全と再生に努めています。

清川村では、全域が水源地域であるという基本理念に基づき、平成8年度に「1トン1円運動」を施行しました。

この運動は、水は豊かな生態系を持つ森林から育まれるという考えのもと、清川村簡易水道の受益者が年間で使用する総水道量に対し、1トン1円を森林保全活動に還元していくものです。これを受けて、今でも間伐材を使った製品の製作や森林

保全活動を担う人材の育成活動などの財源として継続して使用されています。



また、平成19年度から施行された、かながわ水源環境保全・再生市町村交付金事業を活用し、20年間で地域水源林内にある全ての民有林の整備をしていくことを目指すとともに、荒廃が進む人工林の再生と広葉樹林の保全に向け積極的に取り組んでいます。



最後に、清川村で行われている主なイベントを2つ紹介いたします。

毎年8月15日には、宮ヶ瀬ふるさとまつり花火大会が宮ヶ瀬湖畔園地内で開催されます。

夏の夜空には大輪の花が彩り、湖面を流れる夜風を感じながら美しい花火に酔いしれる一時を過ごしてはいかがでしょうか。

また、12月には宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどいが宮ヶ瀬湖畔園地及び水の郷地域周辺を会場として開催されます。



高さ30mを超えた自生の天然モミの木がクリスマスツリーに変身し、会場内に設置された約60万球の各種のイルミネーションは、幻想的でロマンチックな光の空間を演出しています。

豊かな自然の中で、都市と地域の人々との交流やふれあいとともに、良好な水源環境を後世に伝えていくことの大切さや重要性について、多くの方々に「見て」「感じて」いただきたいと、皆様のご来村を心からお待ちしております。

(清川村産業観光課)